

施設栽培「天草」の果実肥大と摘果指標

〔要約〕施設栽培「天草」は満開後約100日までの初期肥大が大きい。無加温施設栽培で商品性の高い3L級以上の大玉果実を生産するには、6月20日（満開後約60日）で果実横径33mm以下、7月10日（満開後約80日）で42mm以下の果実を摘果する。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科

専門

栽培

対象

果樹類

分類

普及

〔背景・ねらい〕

施設栽培「天草」の果実は、果皮が滑らかで赤味も強く、贈答用として大玉果実生産が求められる。省加温及び無加温栽培「天草」の1997～2001年の5か年間の定期的肥大調査結果をもとに、収穫時の階級別摘果指標を作成する。

栽培管理概要

省加温	加温開始	1月下旬～2月上旬（最低温度 8℃）
	満開日	3月下旬
無加温	保温開始	3月中旬
	満開日	4月下旬

〔成果の内容・特徴〕

- ①「天草」は、省加温栽培では7月10日まで、無加温栽培では7月30日まで、果実の日肥大量が大きい。この期日は概ね満開後100日にあたる（表1）。
- ②無加温施設栽培で、収穫時に3L級以上の果実を生産するには、6月20日で果実横径33mm以上、7月10日で果実横径42mm以上が必要である（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

樹齢、樹勢、土壌の保水性等により着果を加減する必要がある。

[具体的データ]

表1 果実横径の時期別日肥大量

栽培体系	期間(上段:月/日～下段:月/日)									
	6/20 ～7/10	7/10 ～7/30	7/30 ～8/20	8/20 ～9/10	9/10 ～9/30	9/30 ～10/20	10/20 ～11/10	11/10 ～11/30	11/30 ～12/20	
	(mm/日)									
省加温	0.51	0.36	0.26	0.26	0.21	0.17	0.13	0.06	0.05	
無加温	0.40	0.49	0.32	0.29	0.26	0.23	0.16	0.07	0.03	

表2 収穫時の目標階級別摘果目安値(予測横径)

栽培体系	期日(月/日)									
	6/20	7/10	7/30	8/20	9/10	9/30	10/20	11/10	11/30	12/20
目標2L(mm)										
省加温	33.7	44.5	51.2	56.2	61.3	65.3	68.5	71.0	72.0	73.0
無加温	30.5	38.7	47.7	53.8	59.3	64.0	68.1	71.2	72.4	73.0
目標3L(mm)										
省加温	37.0	48.7	56.1	61.5	67.2	71.5	75.0	77.8	78.9	80.0
無加温	33.4	42.4	52.2	59.0	65.0	70.1	74.6	78.0	79.4	80.0
目標4L(mm)										
省加温	40.7	53.6	61.7	67.7	73.9	78.7	82.5	85.6	86.8	88.0
無加温	36.8	46.7	57.5	64.8	71.5	77.1	82.1	85.8	87.3	88.0

[その他]

研究課題名:有望中晩生カンキツの栽培技術の確立

予算区分:県単

研究期間:平成13年度(平成12年～15年)

研究担当者:山下次郎